

第3回徳之島ごと さくらねこTNRプロジェクト



さくらねこ無料不妊手術事業

2015年4月16日～21日

申請者：徳之島3町（天城町・伊仙町・徳之島町）

第一回H26/11/15～22	537匹
第二回H27/1/25～31	641匹
第三回H27/4/16～21	251匹
合計	1429匹



公益財団法人

どうぶつ基金

www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金

検索

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7 0797-57-1215 info@doubutukikin.or.jp

はじめに

公益財団法人どうぶつ基金では鹿児島県奄美群島の世界自然遺産登録への取り組みとして、行政と協働して、猫の捕食によるアマミノクロウサギ絶滅の保護措置のために徳之島に生息する全ての猫（推定3000頭）に、さくらねこTNR無料不妊手術を行うことになりました。徳之島は国の特別天然記念物アマミノクロウサギの生息地です。現在、国定公園に指定されていますが近く国立公園に指定される見込みで、2年後までに世界自然遺産登録を目指しています。しかし、その根拠であるアマミノクロウサギは徳之島にわずか200羽といわれており環境省レッドリストの絶滅危惧IB類（絶滅危機）に指定されています。

アマミノクロウサギと猫

環境省がアマミノクロウサギの幼獣の生息状況等をモニタリングするために実施しているセンサーカメラによる自動撮影調査において、ノネコがアマミノクロウサギの幼獣を捕食している場面が撮影されました。不妊手術を施さないなどといった不適正な飼養や遺棄により、野生化した犬やねこの一部は繁殖し、野生生物を捕食するようになり、今回のような重大な事態をもたらす結果となってしまったのです。

徳之島ごとさくらねこTNRを行う理由

3000匹の島の猫すべてに不妊手術を施しさくらねこにすることで、管理された猫と人とアマミノクロウサギが共存する島となり、結果、アマミノクロウサギなどの希少動物を守ることにつながり、徳之島は世界一自然に生き物に優しい島となります。



写真：ノラ猫にくわえられたアマミノクロウサギ（写真提供：環境省奄美自然保護官事務所）

第3回徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト

記録的豪雨とTNRの効果

第3回目となった「徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト」は、50年ぶりの豪雨に見舞われ、猫の捕獲が大変困難になった。またこれまでに1200匹の手術を行っているが、想定以上にTNR効果が早く現れ、未手術の猫がかなり減少し、捕獲器にさくら耳のさくらねこが入っていることが多くあった。さくらねこは不妊手術済みであると、すぐにわかるためその場でリターンをする。捕獲時に気づかれず、手術会場に運ばれてきた場合はノミ取りとワクチン接種のみ行いリターンをおこなった。

上記の要因から前回、前々回のTNR数を大きく下回る結果となりましたが、自然の影響を受けることは仕方がなく、TNRの効果がすでに表れていることは大変喜ばしいことです。今回の経験を踏まえ、行政とどうぶつ基金の連携を更に高め次回へ繋げていきます。

飼い犬の不妊手術を有料で実施

今回からは徳之島3町の行政や住民の皆様からの強い要望に応え、21頭の飼い犬の不妊去勢手術も行った。徳之島などの離島は野犬や捨て犬が比較的多い現状がある。また放し飼いの風習も根強く、いつの間にか子犬が産まれて野犬になってしまうこともよくある。住民の意識を変えることは重要だが、まず不妊去勢手術さえしておけば、これ以上不幸な命を増やさずに済む。手術の必要性が分かっているにもかかわらず高額な手術費用や交通費が負担になり手術を受けられなかった島の犬たちの不妊去勢手術を、どうぶつ基金は行政と協働して推進した。



手術準備から手術実施への流れ

4月16日 (木)	
13:30	猫シェルター視察
15:00	手術会場設営
17:00	解散

4月17日 (金)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了

4月18日 (土)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

4月19日 (日)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開
17:00	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

4月20日 (月)	
8:45	朝礼
9:00	手術開始
12:00	昼食
13:00	手術再開
16:30	手術終了
17:30	撤収完了・終礼

4月19日 (日) 会議	
13:00	担当者会議開始
14:15	終了

4月20日 (月) 課長会議	
13:30	三町課長会議開始
15:00	終了

【事業日程及び人員】

	伊仙町	天城町	徳之島町	どうぶつ基金	合計
4月14日	6	4	3		13
4月15日	6	4	3		13
4月16日	6	4	3	9	22
4月17日	10	4	8	9	31
4月18日	10	4	8	9	31
4月19日	10	4	8	10	32
4月20日	10	4	8	10	32
4月21日	6	4	8	10	28
延べ人数	64	32	49	57	202

捕獲器

捕獲器所有者	使用台数
どうぶつ基金	212
合計	212

手術会場及び猫保管場

手術会場 : 旧徳之島町立神之嶺小学校下久志分校跡

猫の保管 : 旧徳之島町立神之嶺小学校下久志分校跡
天城町クリーンセンター



手術会場



手術が終わった
猫の一時保管場所

手術集計（猫）

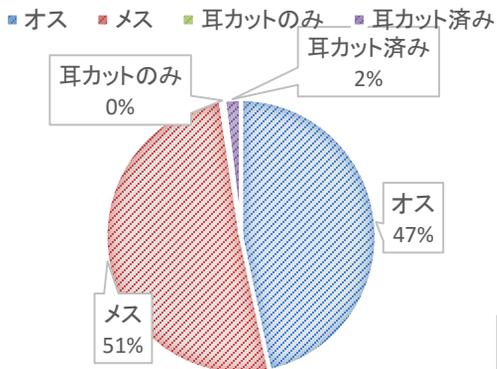
TNR数

	オス	メス	耳カットのみ	耳カット済み	計
4月17日	24	26	0	0	50
4月18日	41	57	0	2	100
4月19日	47	40	1	3	91
4月20日	5	5	0	0	10
合計	117	128	1	5	251

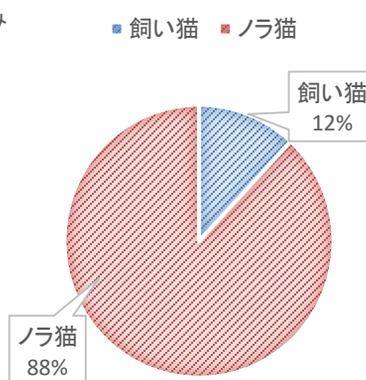
町別猫持ち込み数

	飼い猫	ノラ猫	計
天城町	8	79	87
伊仙町	8	45	53
徳之島町	14	97	111
計	30	221	251

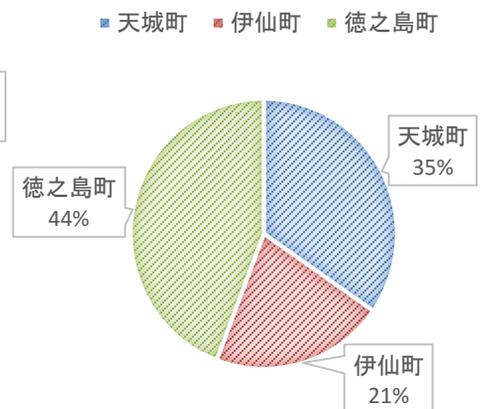
手術割合



飼い猫ノラ猫割合



町別猫持ち込み数

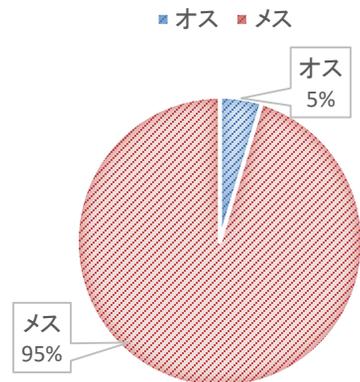


手術集計 (犬)

犬の手術頭数

	オス	メス	計
4月17日	1	10	11
4月18日	0	1	1
4月19日	0	1	1
4月20日	0	8	8
合計	1	20	21

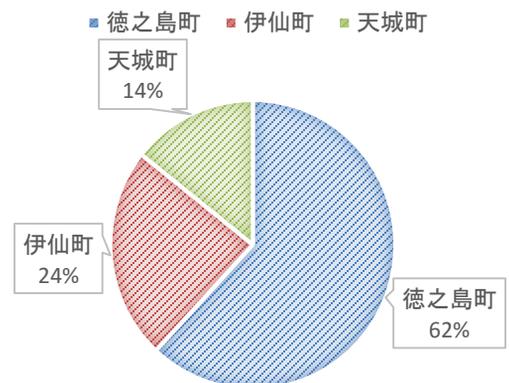
犬の手術割合



犬の町別手術頭数

	オス	メス	計
天城町	0	3	3
伊仙町	0	5	5
徳之島町	1	12	13
合計	1	20	21

町別犬の手術頭数



飼い犬の手術価格

不妊去勢手術 5000円

ワクチン (バンガード8) 1000円 (希望者のみ)

ノミダニ回虫駆除「レボリューション」1000円 (希望者のみ)

狂犬病予防注射 1000円 (希望者のみ)



その他治療

全頭に実施

ノミダニ駆除（レボリューション）、ワクチン、点眼、補液
50cc

特別治療

陰嚢のため腹膜切開＋補液100cc 3頭

子宮蓄膿症のため補液100cc 1頭

傷口洗浄＋補液100cc 5頭、

右後足傷口洗浄＋10針縫合・点滴100cc 2頭



足の怪我が酷く、膿の洗浄と傷口の縫合（10針）

執刀医



山口武雄獣医師（どうぶつ基金顧問）



神山獣医師



平野雄三獣医師ボランティア参加



平野亜矢子獣医師



稲垣正治獣医師



稲垣桃子獣医師ボランティア参加



大和田獣医師 ボランティア参加

手術会場の様子



1. 受付

飼い犬、飼い猫の手術受付の様子。



2. 猫に手術用の管理タグをつける

一頭一頭に管理タグをつける。



3. 手術準備

管理タグがついた猫を手術会場に搬入し、安定剤、麻酔、抗生剤、ワクチンを注射していく。

行政職員さんと獣医師の息の合った連携で行われる。

手術会場の様子



4. 耳カット毛刈り・ノミ駆除
手術する前に、毛刈りをおこなう。
ここで、みみ先カット（さくら耳）
とワクチン、ノミダニ回虫の駆除
（レボリューション）を実施。



5. 不妊去勢手術



6. 術後ケア
手術が終わった猫には、補液、目薬
耳掃除をおこなう。

手術会場の様子



7. 手術器具洗い

1頭の手術が終わるごとに器具を丁寧に洗う。シルバー人材の皆さんがおこなった。



8. 消毒

洗い終わった、器具を消毒液につけて消毒する。



9. ケージの洗浄

猫が手術を受けている間にケージを清掃して、猫を受け入れる準備を整える。
シルバー人材の皆さんがおこなった。

手術会場の様子



7. 安静からリターン

手術が終わった猫は保護場所に戻り麻酔から覚めるまで安静にする。手術翌日または翌々日、捕獲された場所に猫をリターンする。



8. さくらねこ誕生

元いた場所にリターンされ、「ノラ猫」から「さくらねこ」になった。写真は第2回のTNR時にさくらねこになった猫。元気な姿を見せてくれた。



9. 子猫の誕生

捕獲されてから手術までの間にケージの中で出産した母猫がいた。産まれた命は精いっぱいケアをする。母子ともに天城町のネコシェルターで保護することになった。離乳後、新しい飼い主さんに譲渡予定。

犬の不妊去勢手術の様子



手術準備

飼い主さんから犬の年齢や名前などを聞き、手術管理タグを作る。



手術

犬の手術は猫に比べ大がかりになるので、獣医師2名体制で行う。



帰宅

手術後、麻酔が覚めて元気になった愛犬を飼い主さんが迎えにきた。

島の子どもたちが見学に



獣医さんに色々な質問をする子どもたち。興味津々に話を聞いている。



三町課長会議の様子



4月20日の13時30分から、天城町、伊仙町、徳之島町の課長と、どうぶつ基金で会議を行った。獣医師の意見も聞きながら今後の方針をみんなで話し合った。

新聞

【第3種郵便物認可】

初日は猫96匹搬入

第3回TNRスタート

どうぶつ基金と徳之島3町 初試み飼い犬も



【徳之島】公益財団法人どうぶつ基金（兵庫県芦屋市、佐上邦文理事長）が徳之島3町との共催で昨年11月に着手した猫の無料不妊・去勢手術事業（TNR事業）「徳之島」ときくらわ（TNRプロジェクト）の第3回活動が17日、徳之島町立神之嶺小下久志分校（休校中）で始まった。同初日は初試みで限定11匹の飼い犬も対象にした。21日まで。

どうぶつ基金のTNR（トリミング・去勢）事業は2006年に開始。野良猫を捕獲・防ぎ、殺処分ゼロを目指（トロッ）して不妊・去勢手術・マイクロチップ（ニューター）を。飼い猫を既に

上方匹以上に無料不妊手術を施している。世界自然遺産登録候補地域の1つ徳之島では昨年11月、山岳部に侵入してアマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミなどを捕食（滅失）するノネコの発生源と指摘されている野良猫も対象に特別プロジェクトに位置づけて開始。今年1月の第2回活動（5日間）つ伊仙町会場）までの手術総数は飼い猫を含めて計172匹（天城町509匹、伊仙町408匹、徳之島町255匹）にのぼった。

初試みで飼い犬（限定11匹）への対応も17日、徳之島町下久志

第3回活動には獣医師6人と同基金スタッフら計9人が来島。地元の協力で活動が始まった。初日は3町で捕獲した野良猫を中心に計96匹を搬入、同夕

まで50匹に手術した。翌日も類を見ないほど大規模な、生物多様性を守るTNRプロジェクトとして世界から注目を集めている。同基金の佐上理事長は「第2回まで手術した計172匹の約半分がメス。本来ならこの間に1匹が5匹ずつ産んだとして計約3千匹に増えていた計算になる。手術の最終目標3千匹を掲げている同島での活動に「世

界でも類を見ないほど大規模な、生物多様性を守るTNRプロジェクトとして世界から注目を集めている」とも。同基金の佐上理事長は「第2回まで手術した計172匹の約半分がメス。本来ならこの間に1匹が5匹ずつ産んだとして計約3千匹に増えていた計算になる。手術の最終目標3千匹を掲げている同島での活動に「世

第3種郵便物認可（月きめ購読料1,850円）

奄美新聞

AMAMI-SHIMBUN

©奄美新聞社
1959年（昭和34年）8月5日第三種郵便物認可

4月18日 土曜日

初日持ち込みは96匹

徳之島で猫の不妊手術事業

【徳之島婦科】徳之島3町が公益財団法人どうぶつ基金（兵庫県、佐上邦久理事長）と共同で進める猫の不妊手術事業が17日、休校中の徳之島町立神ノ瀬小学校下久志分校で始まった。20日までの4日間、各町が集落などで捕獲した野良猫と、住民の飼い猫計4000〜5000匹の施術を予定。2015年度は計4回、2千匹の施術を目標としている。

15年度は2千匹が目標

初日は野良猫と飼い猫合わせて96匹が持ち込まれ、同基金の獣医師が同基金の負担で無



料。野良猫は施術後、手術済みと分かるように耳の一部に切り込みを入れて元の場所に放す。今回は3町の要請を受けて、事前に申し込みのあった飼い犬1匹の不妊手術を有償で行った。事業は同島に生息するアマミノクロウサギなど希少な生き物が野生化した猫（ネコ）に襲われる被害の防止につなげようと2014年度に始まった。初年度は11月と1月の2回、計10日間で3町合わせて172匹（野良猫84匹、飼い猫331匹）の手術を実施。15年度未だに全島で野良猫、飼い猫合わせて3千匹の施術を目標に計画を進めている。

14年度の町別内訳は徳之島町254匹（野良猫146匹、飼い猫108匹）、天城町510匹（同377匹、133匹）、伊仙町408匹（同318匹、90匹）。全体で野良猫が71・7%を占め、住民が申し込んだ飼い猫は初回2440匹に対して、2回目は91匹にとどまった。同基金は「事業が進んで野良猫の捕獲が難

しくなっている。住民の協力が必要。役場に野良猫の情報を寄せてほしい。飼い猫については住民への広報不足が課題」と述べた。

今回試験的に実施した飼い犬の手術については、「徳之島は保健所での犬の引き取り数が増え、引き取った犬が飼育できず、動物病院がなく、不妊手術を行っていないことが一番の原因」としている。今回の結果を検証した上で次回以降は実施するかどうかを検討したい」としている。

月ごとの購読料1388円（税込）

（日刊）

2015年（平成27年）

4月18日（土）

旧暦2月30日・先勝

発行所
日本新聞協会加盟
南海日日新聞社

〒894-8601
徳之島市名瀬東町1（番3号）
電話 099777

総合・総務局
53-2121 ファクス 52-2354
編集局

53-2127 ファクス 53-6636
Eメール nankai@bronze.ocn.ne.jp

営業局
53-2126 ファクス 53-6431
Eメール nankai@bronze.ocn.ne.jp

販売部
53-2125 ファクス 53-1475
http://www.nankai.co.jp

©南海日日新聞社 2015年

南海日日新聞

さくらねこ無料不妊手術事業 第3回徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト



公益財団法人どうぶつ基金

天城町
伊仙町
徳之島町

NPO法人徳之島虹の会
徳之島ねこ部
徳之島自然保護推進協議会